

「第46回 近畿小児血液・がん研究会 公開シンポジウム」

- 2024年3月16日(土) 13:30～15:50
- 和歌山県立医科大学 伏虎キャンパス 第一会場

「第46回 近畿小児血液・がん研究会」が開催されました。

「ともに学ぼう小児がんーがんゲノム医療ー」がテーマでした。最近注目されているがんゲノム医療ですが、詳しく知る機会がなかなかないのが現状です。今回のシンポジウムではがんゲノム医療について解説していただくと同時に、医療従事者・患者それぞれのポジションからお話を伺うことができました。

4名の方々が登場し、講演を行ったあとで、聴衆の皆さんとの質疑応答がありました。

講演内容は、以下のとおりです。

「がんゲノム医療について教えてください：がんの子どもを守る会関西支部アンケート調査から」

(和歌山県立医科大学 分子遺伝学講座 辻本 弘 様)

「小児がんとがんゲノム医療：がんのこどもたちに最新の遺伝子検査を！」

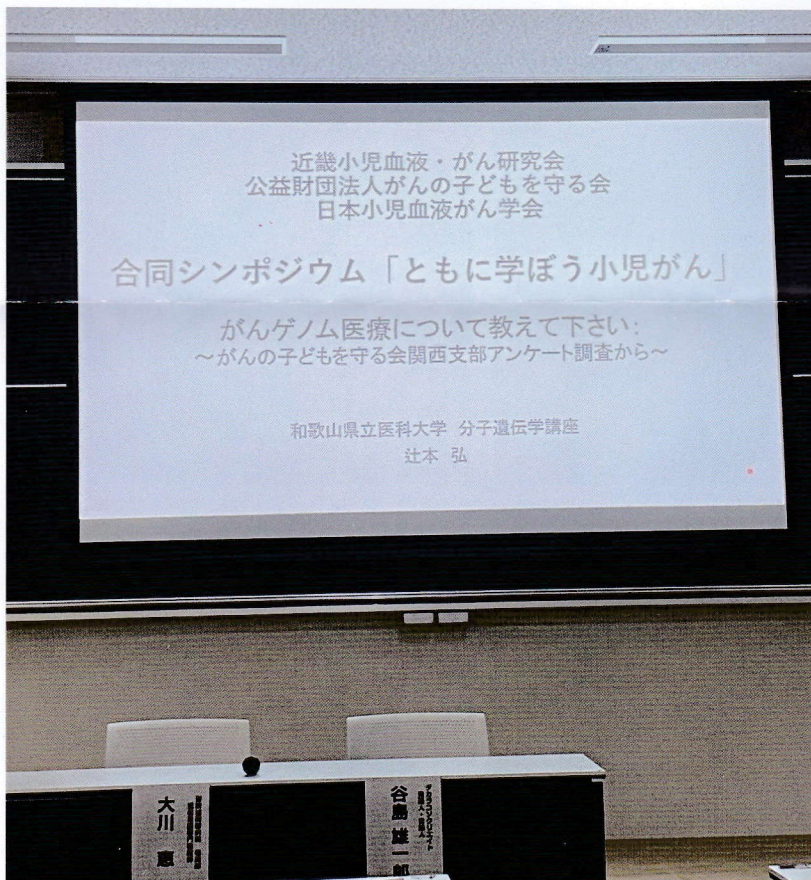
(大阪市立総合医療センター 小児血液腫瘍科医長 山崎 夏維 様)

「がんゲノム医療における看護師の役割」

(聖路加国際病院 看護部 遺伝看護専門看護師 大川 恵 様)

「患者の立場から、がんゲノム医療に求めること」

(ダカラコソクリエイト発起人・世話人 谷島 雄一郎 様)



▲シンポジウム会場にて



▲和歌山城



▲和歌山城から和歌山市内を望む